

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
E112F013		政治学概論 (Introduction on Politics)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 鄭 敬娥 E-mail jeong@oita-u.ac.jp 内線													
授業の概要	1 日本政治の基本的な仕組みを理解できる。 2 諸外国との比較のなかで日本の特徴を浮き彫りにする。 3 日本と国際社会との関係のあり方を考える。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 政治の基本的なルールやその運用を学習する。																			
目標2 日本政治の特徴や問題点を浮き彫りにする。																			
目標3 政治の歴史およびその背景を理解する。																			
目標4																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 政治学とは																			
2 鉄の三角同盟																			
3 多元的民主主義																			
4 官と民の関係																			
5 大企業と政治																			
6 選挙と政治																			
7 地方分権																			
8 マスメディアと政治																			
9 国会																			
10 内閣と総理大臣																			
11 官僚																			
12 戦後日本の政治 : 敗戦と冷戦のはじまり																			
13 戦後日本の政治 : 吉田ドクトリンと戦後外交																			
14 戦後日本の政治 : 憲法と平和主義																			
15 総括																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	日本の政治に関して自分から課題を見つけて、その歴史と背景などを調べて、プレゼンテーションを行う。					工夫	その他の											
	B:意見の表現・交換																		
	C:応用志向																		
	D:知識の活用・創造																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備	次回に取り上げるテーマについて、新聞や雑誌などから過去に争点になった出来事を調べて、自分なりに仮説を用意する。(例えば、日本の選挙制度。選挙制度改革の背景と問題点など)(15H)																	
	事後	授業で扱った内容を振り返り、自分の仮説と照らし合わせて、問題点や足りなかった観点などを明らかにする。これを月一回、レポートとして提出する。(15H)																	
教科書	特になし。その都度、資料やプリントを提示。																		
参考書	北山俊哉他編『はじめて出会う政治学：構造改革の向うに』(有斐閣アルマ、2009年) 苅部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』(有斐閣、2011年)																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	授業の貢献度	20%																	
	プレゼンテーション	30%																	
	期末試験	50%																	
注意事項																			
備考																			
リンク																			
	URL																		